

英語の学力向上に関わる取組

【吉川市教育委員会】

【中学校・英語科・全学年】

【指導の重点】

- ◎ 基礎基本の徹底と実践的コミュニケーション能力の育成
～小中連携を視野に入れて～

【取組】

① 「聞く力」 について

- ・ 教師のオーラルイントロダクションで文法の導入などをおこなう。
- ・ クラスルームイングリッシュを継続的に使う。
- ・ ALTとのT.Tの授業を充実させ、会話やパワーポイントでの提示資料等によるALTの自己紹介、休日の過ごし方や日頃の生活についての話など本物の英語を見聞きする機会を増やす。
- ・ リスニング教材を使用して指導をする。

② 「話す力」 について

- ・ 実際の言語の使用場面に配慮し、積極的にコミュニケーションが図れるような活動を多く取り入れる。
- ・ テーマを設定し、自分で英文を考えさせ、クラスの仲間の前でスピーチさせる。
- ・ 基本文からスムーズに自分のことに置き換えて表現できるようにするための反復練習をする。
- ・ スピーキングテストを実施する。

③ 「読む力」 について

- ・ 教科書の会話文などでロールプレイング（役割演技）させる。
- ・ 何度も音読練習させ、リーディングテストを実施する。
- ・ 教科書以外のまとまった英文を読む経験をさせ、内容の概要を読み取れるようにする。

④ 「書く力」 について

- ・ 1時間の授業の中でなるべく英文を書く時間を設ける。
- ・ 辞書指導をおこない、わからない言葉などを調べて、自力で英文を作る力を養う。
- ・ スペリングコンテストを実施し、合格するまで粘り強く指導する。
- ・ ノートの書き方指導を徹底し、家庭学習の習慣も身につけさせる。

⑤ 意欲の向上について

- ・ 英語の歌やチャンツなどウォームアップを工夫する。
- ・ 個人、ペア、グループなど様々な活動形態でおこなう。
- ・ 生徒の興味、関心を喚起させる身近な言語の使用場面を設定する。
- ・ 一人ひとりが活躍できる発表場면을工夫する。
- ・ 1時間の授業の中に自己表現活動を意識的に多く取り入れる。

【成果と課題】

特に②により、会話のアクティビティなどで、話したり聞いたりする活動を恥ずかしがることなく意欲的におこなうことができるようになった。また、単語や英文を正しく書く力がまだまだ弱く、読めても（言えても）書けないという生徒が多いことが課題である。地道に練習して覚えるという作業をおこなえるよう支援をしていき、スペリングコンテストなどを継続的におこなって、定着させていく。